



# 耐震改修工事の流れ

自己診断は簡易的なものです。工事の前に必ず専門家による耐震診断を受けましょう。

## 1 耐震診断を行う

耐震診断は、一般的に「木造住宅の耐震診断と補強方法（（財）日本建築防災協会発行）」に基づき行われます。

- 予備調査 設計図書や、増改築の有無等の情報を集めます。
- 現地調査 現地で建物の現況を調査します。
- 耐震性能の評価 専門家が耐震診断を行い、住宅の耐震性能を評価します。耐震性能を示す評点\*が 1.0 未満の場合には対策が必要です。

※この評点は「専門家による耐震診断」の評点で、11、12 ページの簡易耐震診断の評点とは異なります。

住宅の劣化状況や、問題点など耐震診断の結果を具体的に聞きましょう。



## 2 耐震改修計画を立てる

耐震診断の結果に基づき、目的に応じた改修を検討します。

耐震改修計画による耐震改修工事前後の耐震性能の評価や、工事の内容と効果について、きちんと説明を受けましょう。

予算や工期、耐震改修後に求める耐震性能のレベルなど、要望をしっかりと伝え、不安な点、疑問点をなくすようにしましょう。



## 3 耐震改修の設計を行う

耐震改修計画に基づき、実施設計を行います。

改修箇所を示した平面図や写真を使って、説明を受けましょう。



## 4 耐震改修工事費の見積りを出す

耐震改修工事にかかる費用を算出します。

耐震改修工事の内容をきちんと理解し、工事金額の見積りを確認したうえで、契約しましょう。



## 5 耐震改修工事

耐震改修工事を実施します。

工事中的写真をしっかりと残してもらうようにしましょう。



 見積りは複数の業者に依頼し、対応等含めて納得できる業者を選定するようにしましょう。